

緑の相談所だより No.108

発行日 平成19年10月1日
編集・発行 財団法人旭川市公園緑地協会 緑の相談所

講習会のご案内

10月開催!

『バラづくり実践②』 ~管理と冬囲い~

とき 平成19年10月14日(日)PM1:30~3:30
講師 旭川バラ会 後路 和美 さん
定員 50名

『庭木の越冬とフジ、ブドウの剪定』 と『冬囲いの実習』

とき 平成19年10月21日(日)PM1:30~3:30
講師 緑の相談所 相談員 伊藤 征夫
緑の相談所 所長 伊藤 隆司
定員 50名

『秋から冬への鉢物管理』

~ 室内で楽しむ寄せ植えづくり ~
とき 平成19年10月28日(日)PM1:30~3:30
講師 緑の相談所 相談員 佐藤 吉光
定員 20名 教材費 700円

11月開催!

『土づくりの基礎』 ~腐葉土をつくろう~

とき 平成19年11月11日(日)PM1:30~3:30
講師 緑の相談所 相談員 芝山 一雄
定員 50名 持ち物 軍手 実習含みです。

12月開催!

『クリスマスからお正月の寄せ植え』

とき 平成19年12月2日(日)PM1:30~3:30
講師 フラワーマスター 山本 裕美 さん
定員 20名 教材費 2,000円

予約です。

11月26日に受付を締め切らせていただきます。

展示会のご案内

『公園絵画展』

とき 平成19年10月23日(火)~11月4日(日)
AM9:00~PM5:00

『木の実・草の実写真展』

とき 平成19年11月6日(火)~30日(金)
AM9:00~PM5:00

定員になり次第募集は、締め切らせていただきます。お申込みはお早めをお願いいたします。会場は全て旭川市緑の相談所(旭川市神楽岡公園内)緑の学習室です。お申込み・お問合せ・ご相談は、旭川市緑の相談所 (0166)65-5553 まで。

ちょっとした豆知識コーナー 愛称名の植物の正式名称

~植物の正式な名前ご存知ですか??~



園芸屋さんにある植物の名前や普段当たり前のように口に出している植物の名前は愛称名がとっても多いです。

でも、皆さんその愛称名の植物の正式な名前ってご存知ですか?今回はそんな愛称で呼ばれている主な植物の正式名称をご紹介します。

* アイビー

正式名称を「ヘデラ」といいます。「ヘデラヘリックス(セイヨウキズタ)」の種類を英名でアイビーと呼んでいます。約550種類以上があるそうです。

* ねこじゃらし

正式名称を「エノコログサ(犬ノ子草)」といいます。子犬のしっぽという意味です。東京方言でネコジャラシは穂で子猫をじゃれさすことからといわれています。

1年中 花を楽しもう！

ゼラニウム

丈夫で比較的乾燥にも強い「ゼラニウム」は鉢植えはもちろん、ハンギング等、様々なシーンで大活躍してくれます。

秋に1度、軽く霜が降りてから室内に取り込みます。取り込む直前に株全体を切り詰め、挿し木をし、新しい苗も作ります。

挿し木

- ・葉を2～3枚つけて、5cm程の長さにカットします。
- ・出来るだけ先端に近いものを使用します。
- ・水に漬けて、新根が出るのを待ちます。根が出るまで15～20日の陰に置き、水は綺麗なものに取替えます。
- ・新根が伸びたら用土を入れた鉢に直接植えます。ポリュームのある鉢にするために、1鉢に3本ずつ植えます。
- ・根付くまでは15～20日の明るい日陰で根付いたら日当たりの良い温かい場所で管理します。

水やり

葉が多少萎れた感じになったらたっぷりと与えます。

肥料

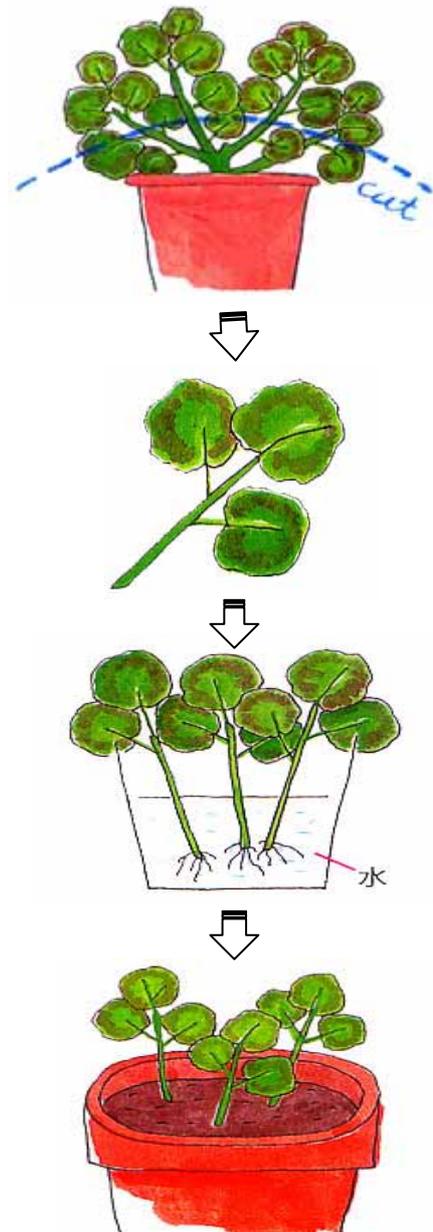
下葉が黄色く萎れてきたら養分不足のしるしです。薄めた液肥をたっぷりと与えます。

花がら摘み

花がらは、こまめに摘み取ります。摘み取る時は花茎の根元部分から手で折ります。

植替え

2～3年に1度株が大きくなってきたな、と思ったら春に植替えをします。用土は、赤玉土7に対し、腐葉土3の割合で混ぜたものを使用します。



展示室の植物達 ~ 16 ~

クリスタ-ガリ (別名 アメリカディゴ, カイコウズ)

マメ科 エリスリナ(ディゴ)属

ブラジル南東部から、アルゼンチン北部原産の落葉高木で、高さ6m前後になります。日本には江戸時代に渡来し、暖地で庭木や街路樹として植えられています。

根、葉柄、主脈に曲がった小さな棘があります。葉は長い柄のある3出複葉で長さ約5cmの蝶形花を開きます。旗弁は倒卵形で大きく下向きに開いています。翼弁は小さいです。

鹿児島県の県木

観賞用の他、家畜の飼料等にも利用されます。

秋から冬への鉢物管理

球根ベゴニア

シュウカイドウ科 ベゴニア属 原産地 南米アンデス山系

特 性

地下に塊茎（茎が肥大した球根）をもつ球根植物。生育適温は18～25℃。30℃以上になると開花しないことがあります。球根は年々肥大し芽数は増えますが、自然分球はしません。先端に雄花が一つ、両側に雌花がつく雌雄異花です。

置き場所は、日当たりのよい窓辺で育てます。光を好みますが、夏の強い光線は苦手です。葉焼けなどの障害を起こすことがあります。

水やりは、朝に乾き具合をみてたっぷりと与えます。

施肥は、夏は週に1回の液肥と月1回の置き肥を与えますが秋からは与えません。

主 な 系 統

- ・スタンタイプ(主茎直立) 八重大輪系は花色が豊富、一重大輪系は花卉が波状、鶏頭状のものもあります。小輪多花系は一重、八重があり花壇植えが可能です。
- ・懸垂性多枝タイプ(分枝が多く、細い枝が垂れ下がる)
 - ハンギングバスケット系 花茎10cmの中輪系。
 - ベンジュラ系 3～5cmの小輪系、生育初期に4～5節で枝を摘み分枝を増やします。

これからの管理作業

10月に入ると短日のため生育が鈍くなってきます。10月半ばから水を控え、10℃位の場所に置くと11月の半ばには葉を落とし、やがて茎も倒れるようになります。その後、球根を凍結しない場所で貯蔵します。3月に入ると休眠が破れているので鉢植えして芽出しすると6月には花を見ることができます。

芽出しと植え方

- ・時期・・・休眠が明ける3月ごろ
- ・用土・・・赤玉土3、腐葉土3、ピートモス2、火山礫2
- ・肥料・・・緩効性肥料を中間に3g程度
- ・方法・・・球根は半日くらい水に漬け、浅い鉢にパーミキュライトを入れ、球根を並べて軽く覆土し、20℃くらいを保つ、約1週間位で芽が動き出す。芽が出ると、4～5号鉢に1球、根を傷めないように注意して球根の肩が出るくらい浅く植え込みます。

花の呼称の由来

大和撫子（ヤマトナデシコ）

ヤマトナデシコという呼称は、中国から渡来したセキチク（カラナデシコ）と区別するためのものであった。「源氏物語」（常夏の巻）に「撫子の色をととのへたる唐の大和の、ませ、いとなつかしく結いなして」とあり、「枕草子」（草の花）にも、「草の花はなでしこ、からのはさらなり、やまとのもいとめでたし、うつしきものなでしこのはな」とあります。自生地にそよぐつつましやかな風情から、後に日本女性の美称と結びつけたとも伝えられています。

10月の園芸作業

1 草花・鉢花類

アザレア、ツバキ、クンシラン、ハゴロモジャスミン等は開花に一定の低温期間が必要なので、霜に注意し、出来るだけ戸外で管理し、入室してからも涼しい場所に置きます。

アマリリス、カラー、球根ベゴニア等は低温で管理し水やりを中止して葉が落ち自然に枯れてきたら鉢ごと春まで水を与えずに保管します。

ダリア、グラジオラス等は軽い霜に当ててから堀上げ、ダリアは7~8程度の低温の場所、グラジオラスは乾燥して凍結しない場所で貯蔵します。

2 庭木類

落葉後のカンバ類、カエデは太い枝を試し切りして1日置いて樹液が出なければ剪定します。

マツ等の高木は枝つり(雪つり)、落葉の進んだ花木等の低木は結束、支柱立てを始めます。

バラは1~2度の霜に当たっても葉を落とさないのので芽を傷めないよう注意して葉を落とし、病害虫の防除を行います。

3 洋ラン類

シンビジウムは蕾が目立ってくる時期です。室内に入れた鉢は日当たりの良い最低温度10以下、日中の温度が20以上にならない場所で管理します。

カトリア類の秋咲き種は最低12~15に保ちます。冬咲き、春咲き種のシースの発生した株は、水を控え最低気温12~15で最高気温25以上にならないよう注意し湿度を保つ工夫をします。

デンドロビウム・ノビル系は戸外で霜を避けながら管理し、気温が5位に下がったら入室します。バルブが肥大し黄色味を帯び始め花芽分化へと進むので気温は10~18位に保ち、日当たりの良い窓辺に置き水は控えます。

コショウランは最低18位を保ち最高25以上にしません。晴天の日の窓辺にはレースのカーテンが必要です。花芽が伸び始めても開花まで120日位かかります。

11月の園芸作業

1 草花・球根・鉢花類

ハイビスカス、シクラメン、エラチオールベゴニア等開花中の鉢は日当たりの良い場所に置き液肥を与えます。シクラメンは夜温が高いと花が早く終わるので夜は温度の低い場所に移します。

晩生のユリの植替え、植込み時期です。チューリップ等の植え残し、遅れて入手した球根類は直ぐに植込みます。一度植えたチューリップ等は根が伸びている為植替えは出来ません。

宿根草は茎葉を刈り取り1年草は引き抜きます。病株は処分します。

2 庭木類

フジは上旬までに今年伸びた枝(つる)を3~4(5)節のところを剪定します。なお、剪定の終わってないカエデ、カンバ類は根雪前に終わらせます。

高枝つり、花木の結束を済ませます。コモや暴風網の囲いは急いで行わず12月に入ってから行います。

3 洋ラン類

シンビジウムは花茎の伸長期です。温度は15前後の明るい場所に置き20以上にしない。高温は蕾の黄化、落蕾の原因になります。

カトリアで開花中の株はやや低温で管理すると長持ちします。

一般のデンドロビウム・ノビル系は花芽分化の前段にあたります。日中は日光の当たる場所に置きしっかり低温に合わせる。日中温度20以下、夜間7~10の低温で管理すると花芽分化に繋がります。

コショウランは室内温度18に保ち水は乾いたらやり、その都度薄い液肥を与えます。窓辺の日光は直接当てても葉が焼ける心配はなくなります。暖房が入ると乾燥するので、バットに水を入れその上に鉢皿を置く等、湿度を保つ工夫をします。